

経済状況について

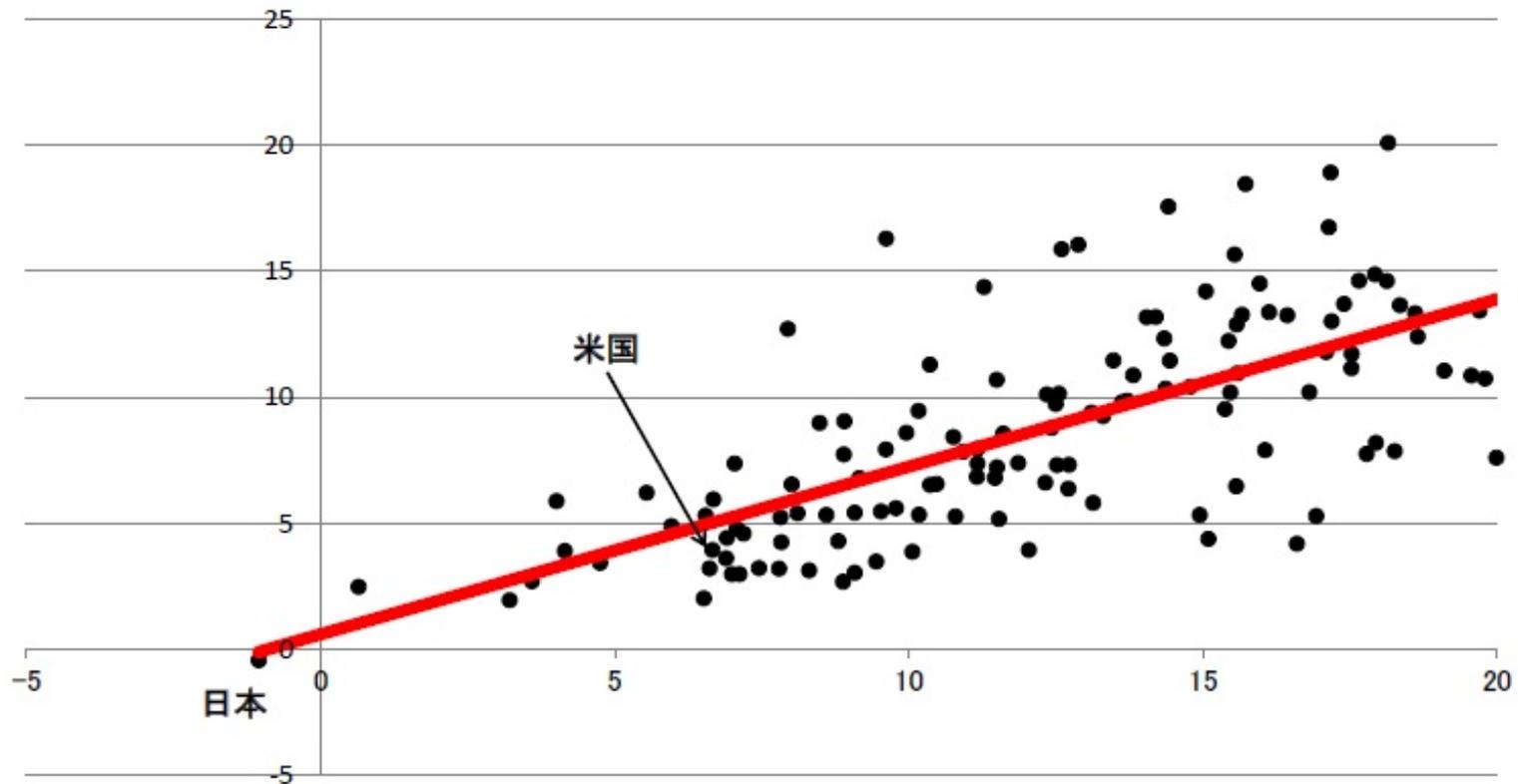
2012年10月1日

嘉悦大学

高橋洋一

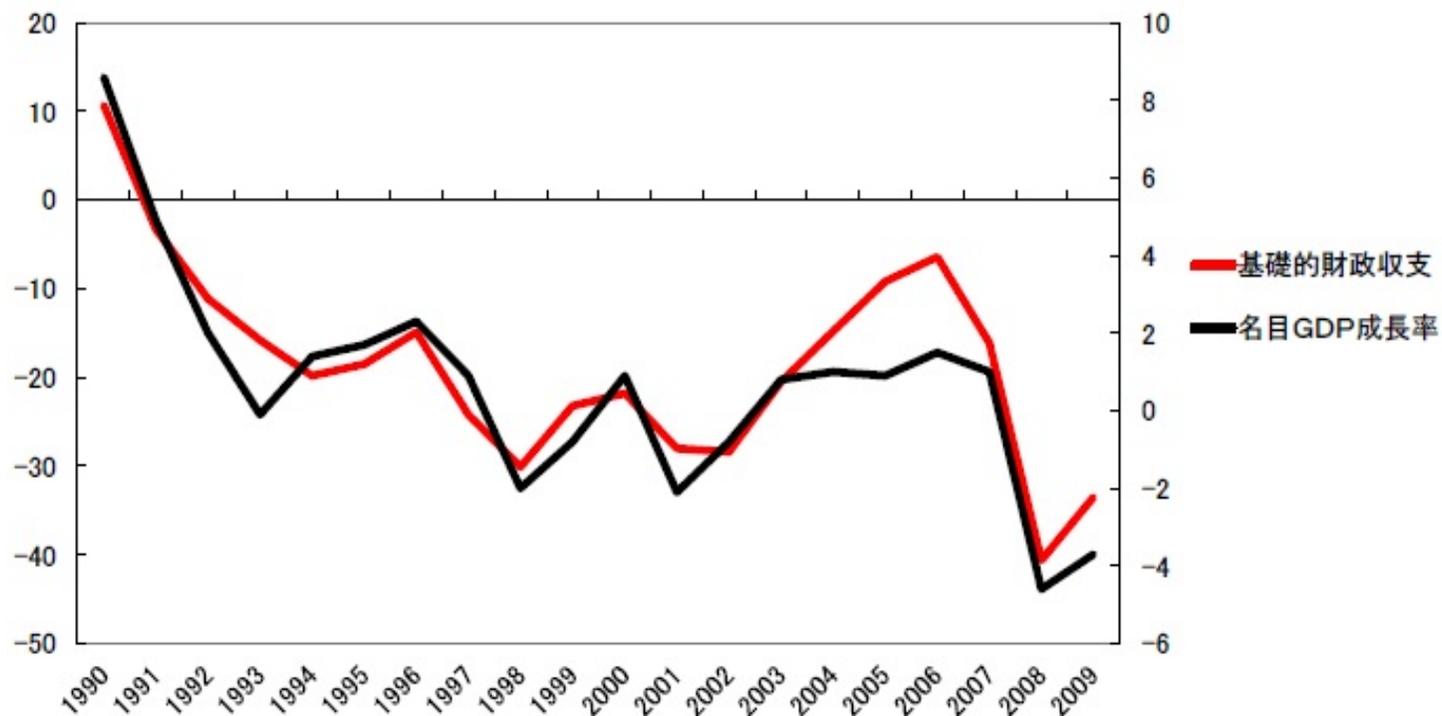
カネはジャブジャブ??

マネー伸率と名目GDP伸率の関係 (2000-2009)



過去15年間の税収弾性値4 名目成長4～5%で財政再建可

基礎的財政収支(翌年:左軸:兆円)
と名目GDP成長率(右軸:%)の関係

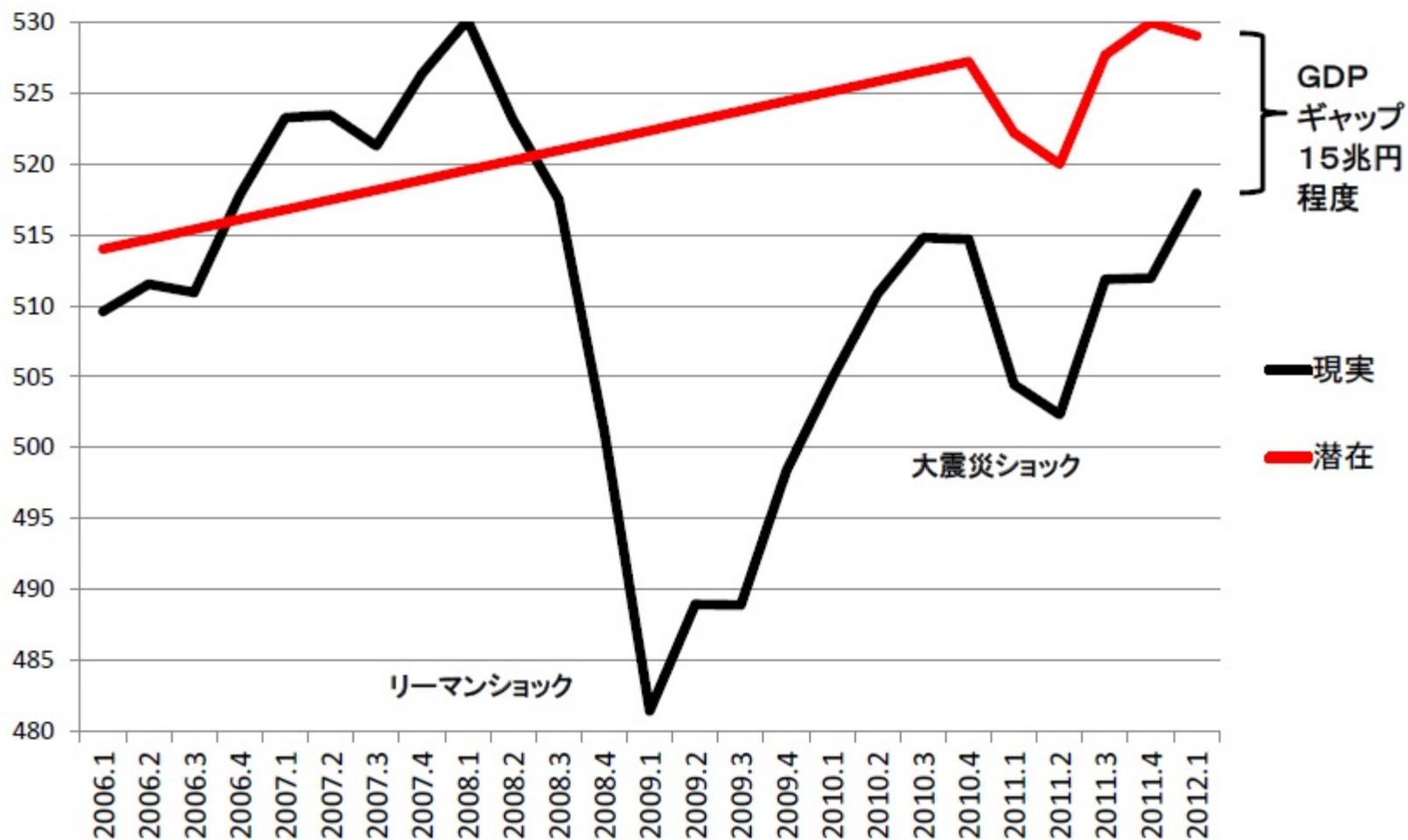


格付けよりCDS(9/28)

(9月7日ECB国債無限買入後)

- Greece -----%
- Portugal 5.0%
- Ireland 3.2%
- Italy 3.6%
- Spain 3.9%
- France 1.2%
- Japan 0.8%
- Germany 0.6%
- UK 0.5%

現実GDPと潜在GDPの推移(兆円)



税・保険料の不公平

- 不公平は穴の空いたバケツ
- 不公平是正が税率より先
- 歳入庁・番号
 - 消えた保険料 10兆円
 - クロヨン 5兆円
- 消費税インボイス
 - 消費税漏れ 3兆円

歳入庁の必要性

- 社会保障と税(所得税)の統合が世界的潮流(給付付き税額控除)。この中で所得再分配政策
- このための社会インフラとして歳入庁は不可欠。
- 歳入庁は世界各国で行われているが、財務省は国税権力(人事権確保)のために手放さない
- 社会保障と税の一体改革で「歳入庁」は、一言触れられているが、もし実現しても財務省から分離させないという書きぶり

消費税

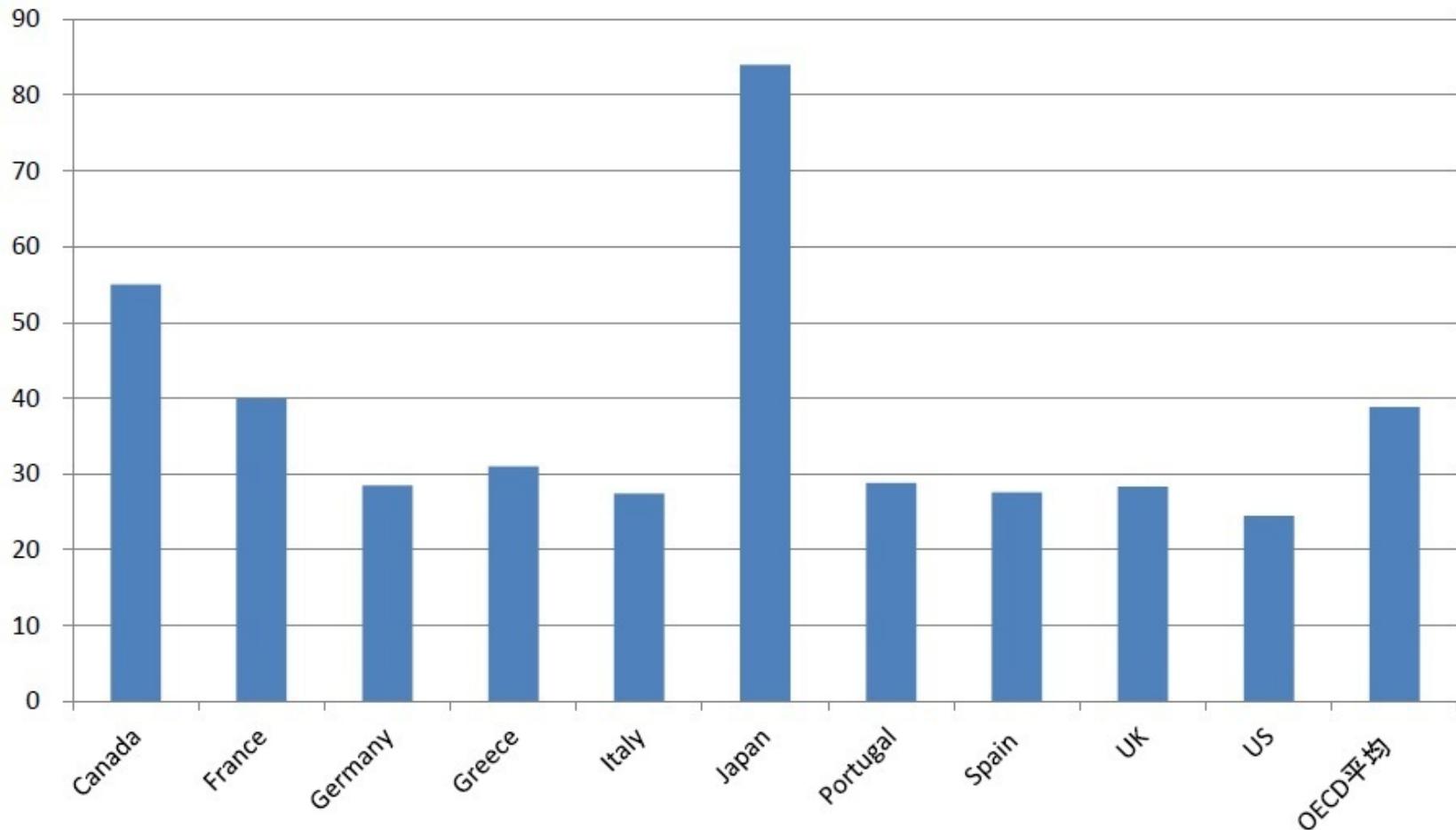
- 社会保障目的税は、給付と負担を見えにくくし、社会保障での無駄を助長、保険方式の崩壊
- 消費税を社会保障目的税にする国は聞かない
- 消費税の社会保障目的税化は消費税の国税化
- 地方分権のためには、消費税の国税化が必要（地方交付税の廃止）。つまり地産地消
 - 財務省の反論：ヨーロッパのように国境措置
 - 再反論：カナダは地方ごとの消費税率が異なるが国境措置はない

特別会計改革

- 17→11特会 数合わせ 捻出する埋蔵金なし
- 国債整理基金特会で10兆円あり
- 労働保険特会で5兆円あり
- 問題は特会の必要な積立金水準について具体的な数字が示されていないこと
- シロアリ(天下り官僚)、シロアリの巣(独法)、シロアリへのミルク(特会埋蔵金)の一掃が必要
- 逆にシロアリ大繁殖

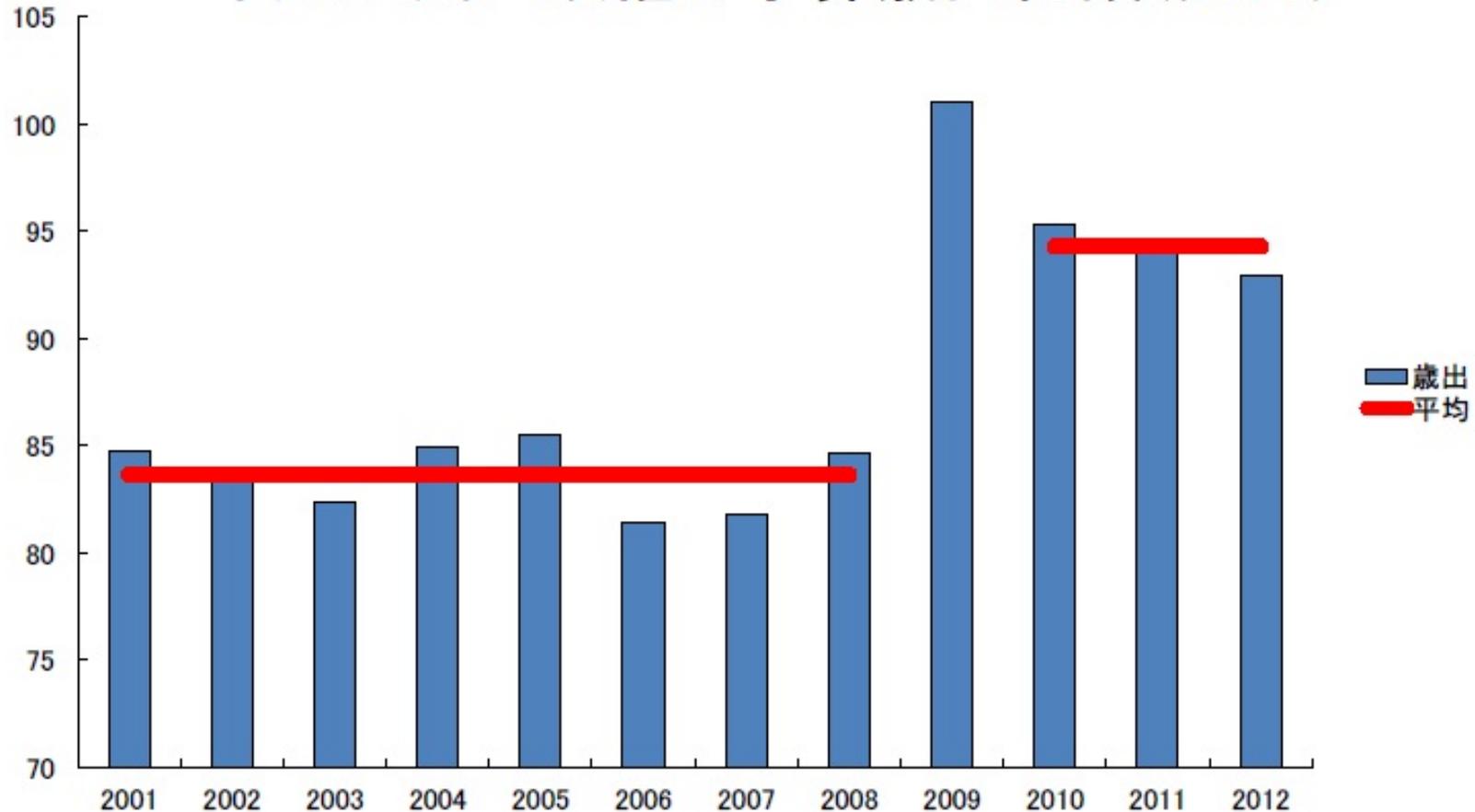
日本の資産はたっぷり

各国の金融資産残高対GDP比(2009)



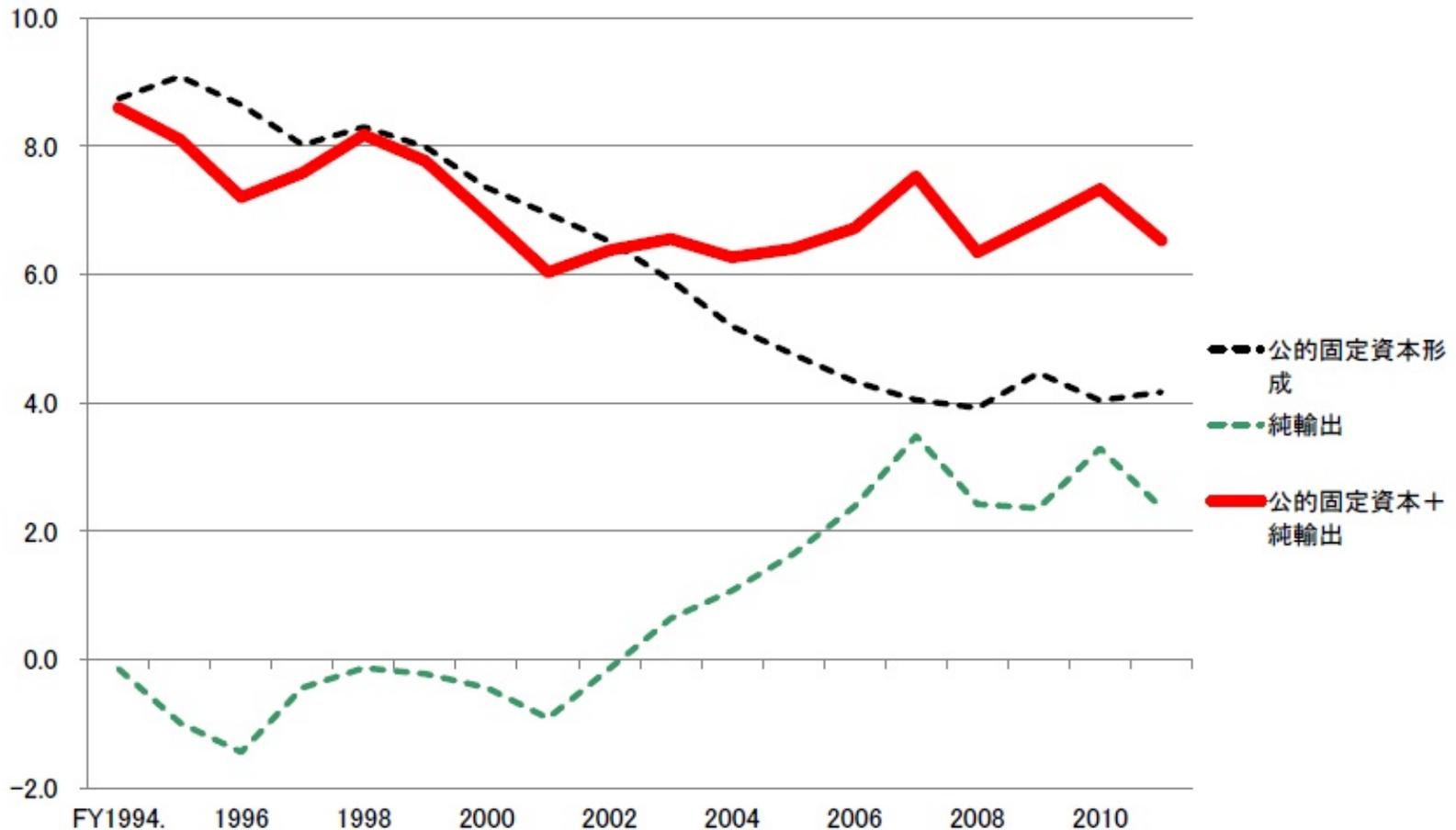
民主党政権下で膨らんだ予算

自公と民主政権の予算歳出総額(兆円)



マンデル・フレミング効果??

公的資本形成と純輸出対GDP比の推移



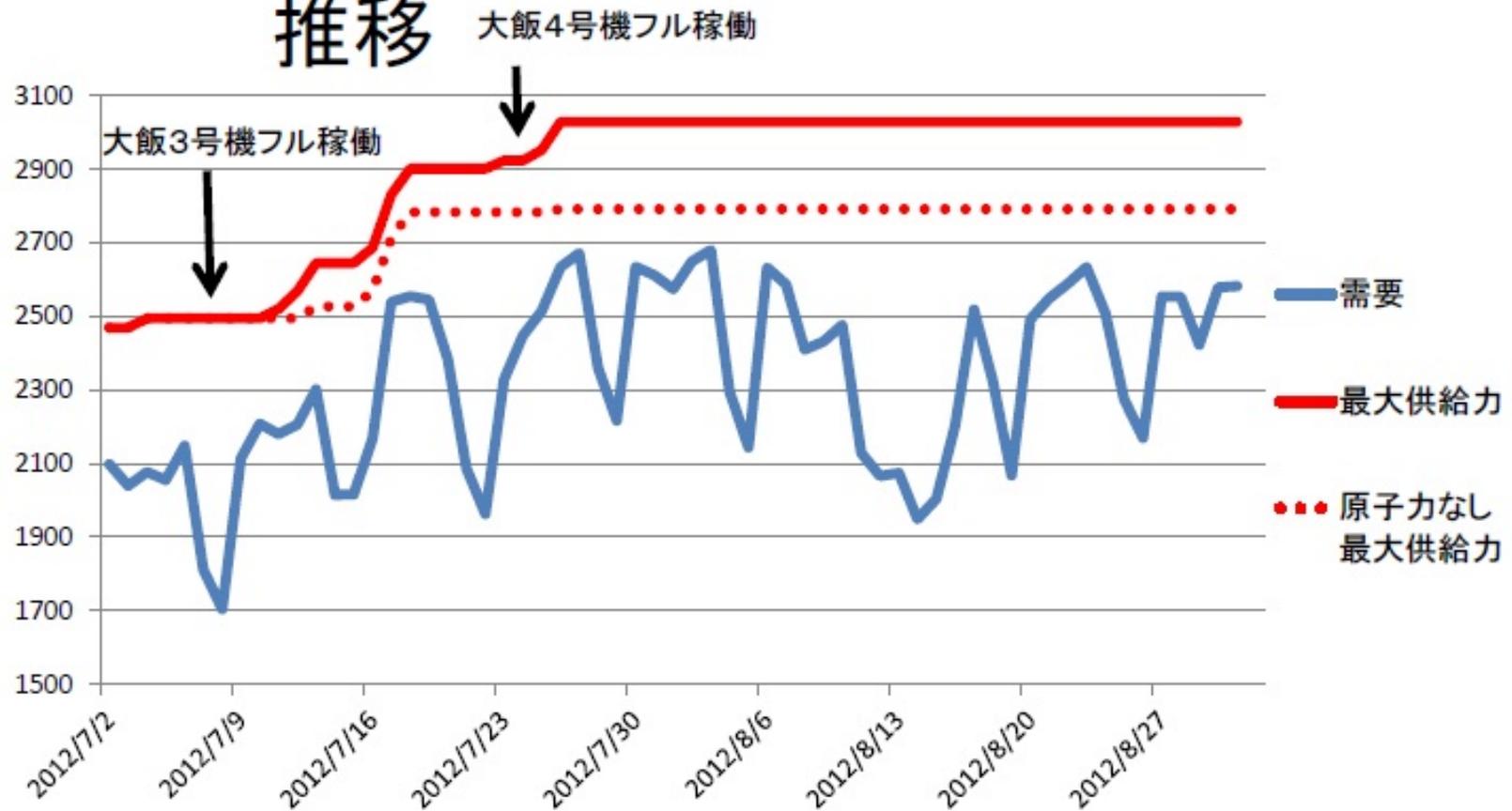
カネ刷って生保を少なく

生活保護者増加率(前年比:%:左)と
インフレ率(前年比:%:右)



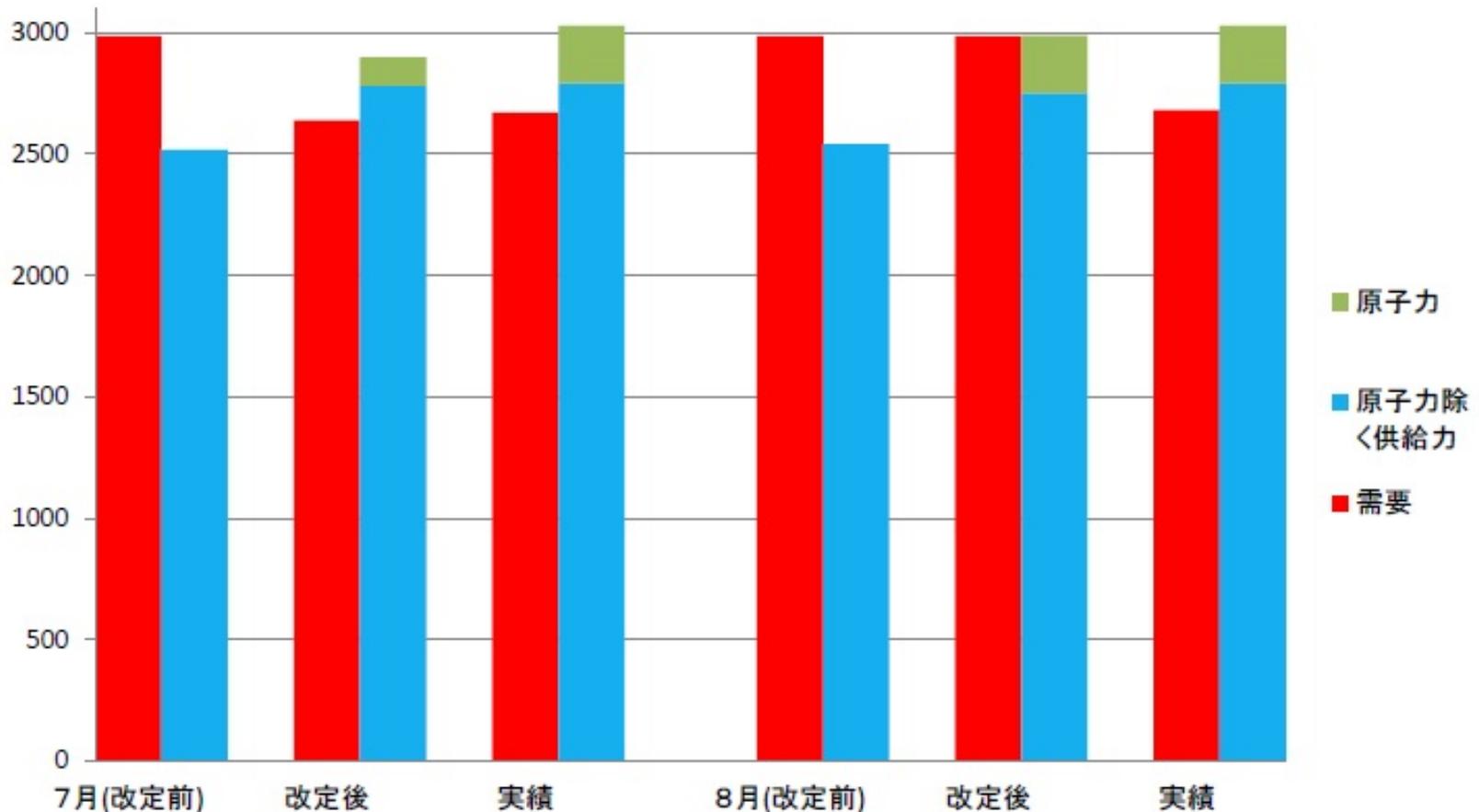
原発の動き(1)

関電の電力需給状況(万kw)の推移



原発の動き(2)

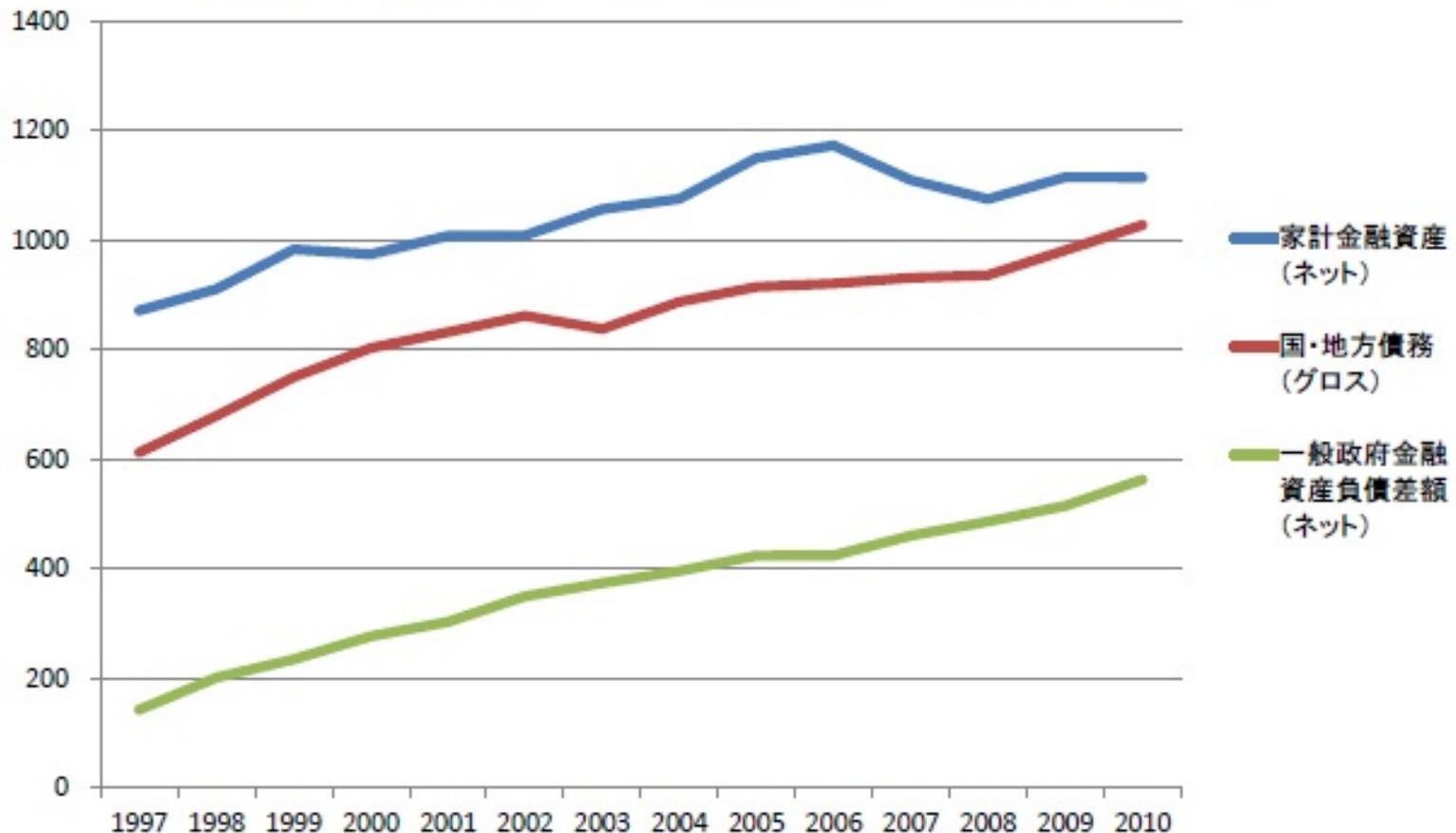
需給見通し改定による変化と実績



最近のウソの見破り方(1)

債務が貯蓄を上回る??

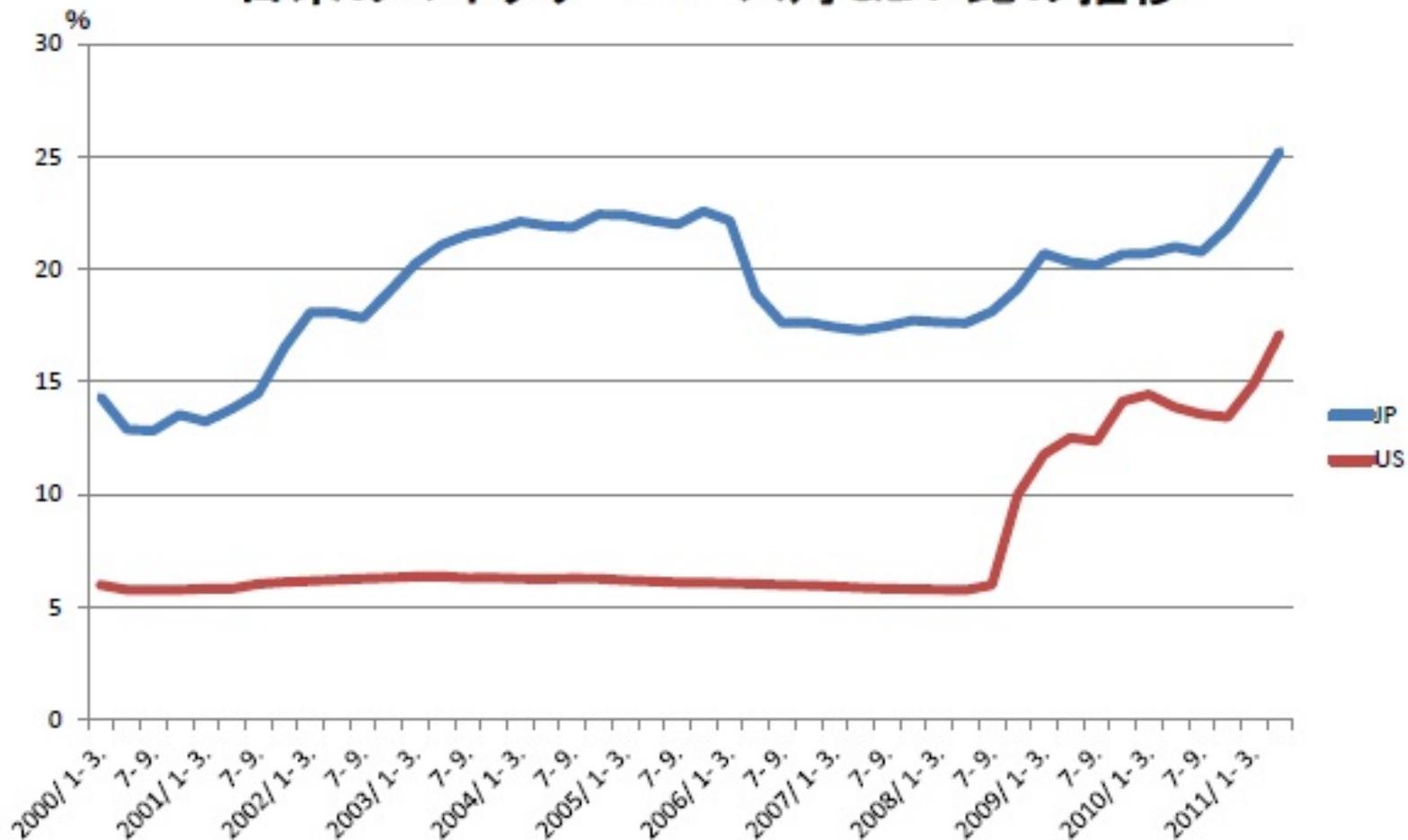
家計金融資産と政府債務の推移(兆円)



最近のウソの見破り方(2)

日銀は金融緩和している??

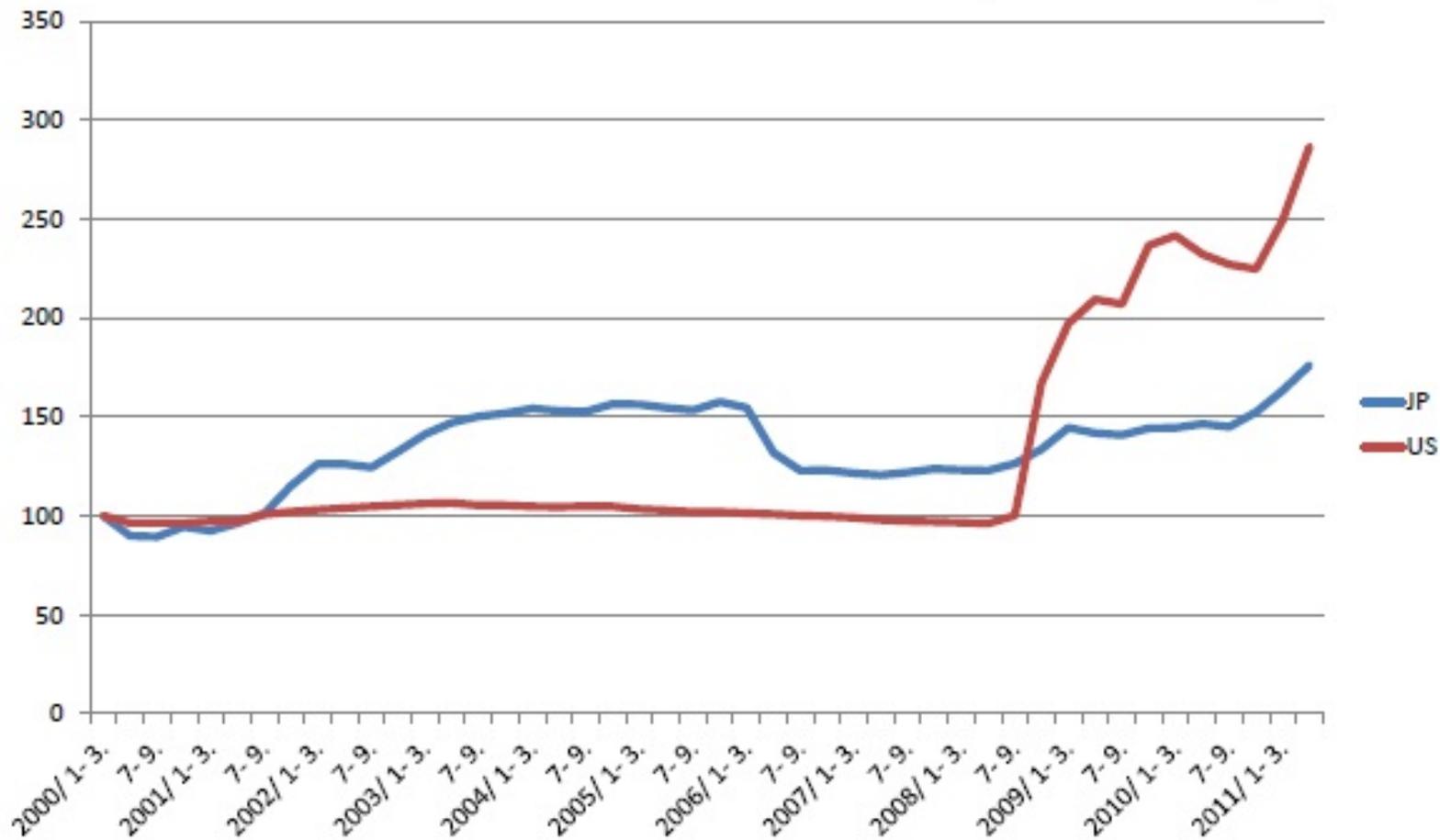
日米のマネタリーベース対GDP比の推移



最近のウソの見破り方(3)

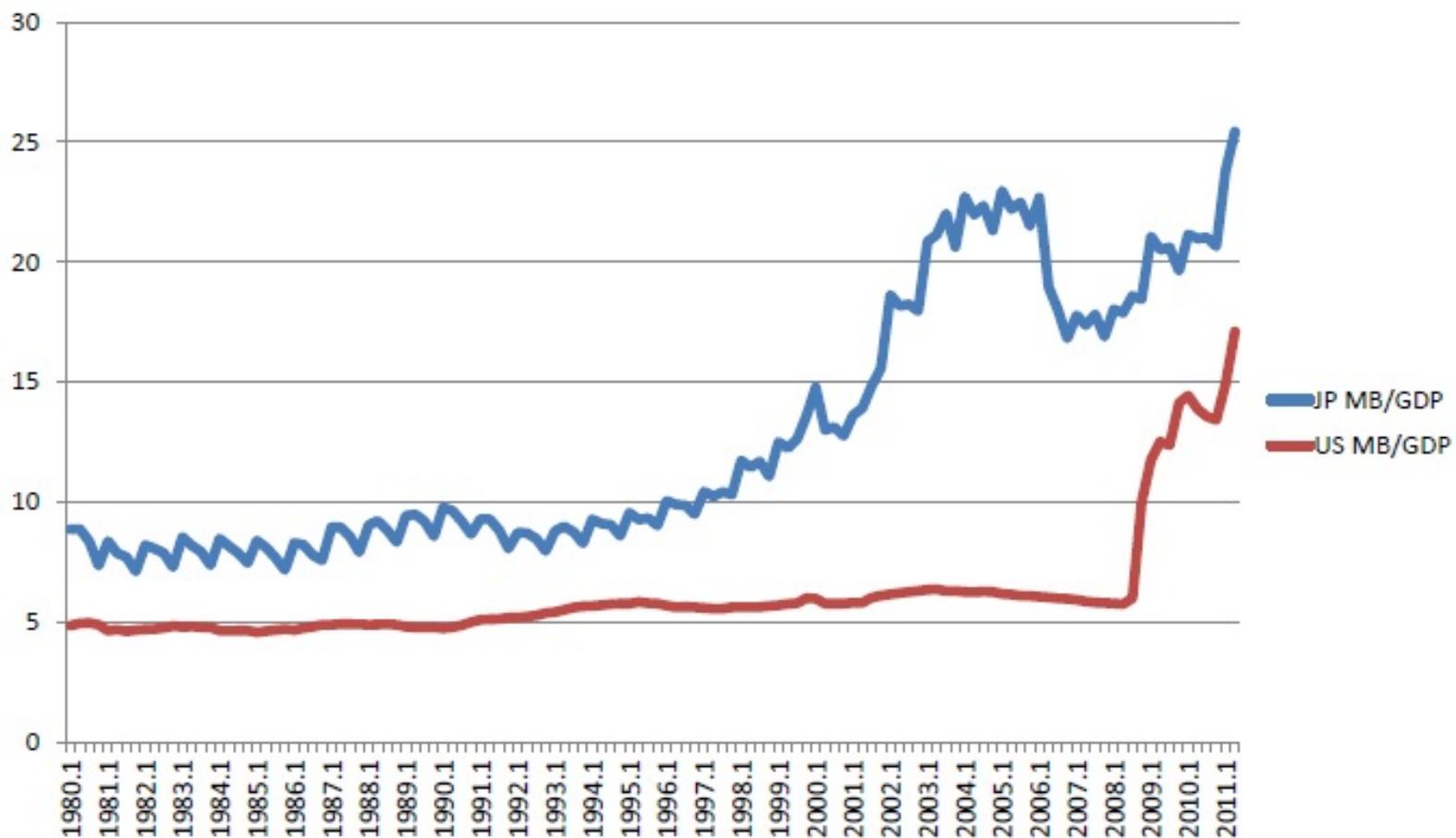
日銀は金融緩和している??

日米のマネタリーベース対GDP比(2000.1=100)



最近のウソの見破り方(4) 日銀はずーと金融緩和している??

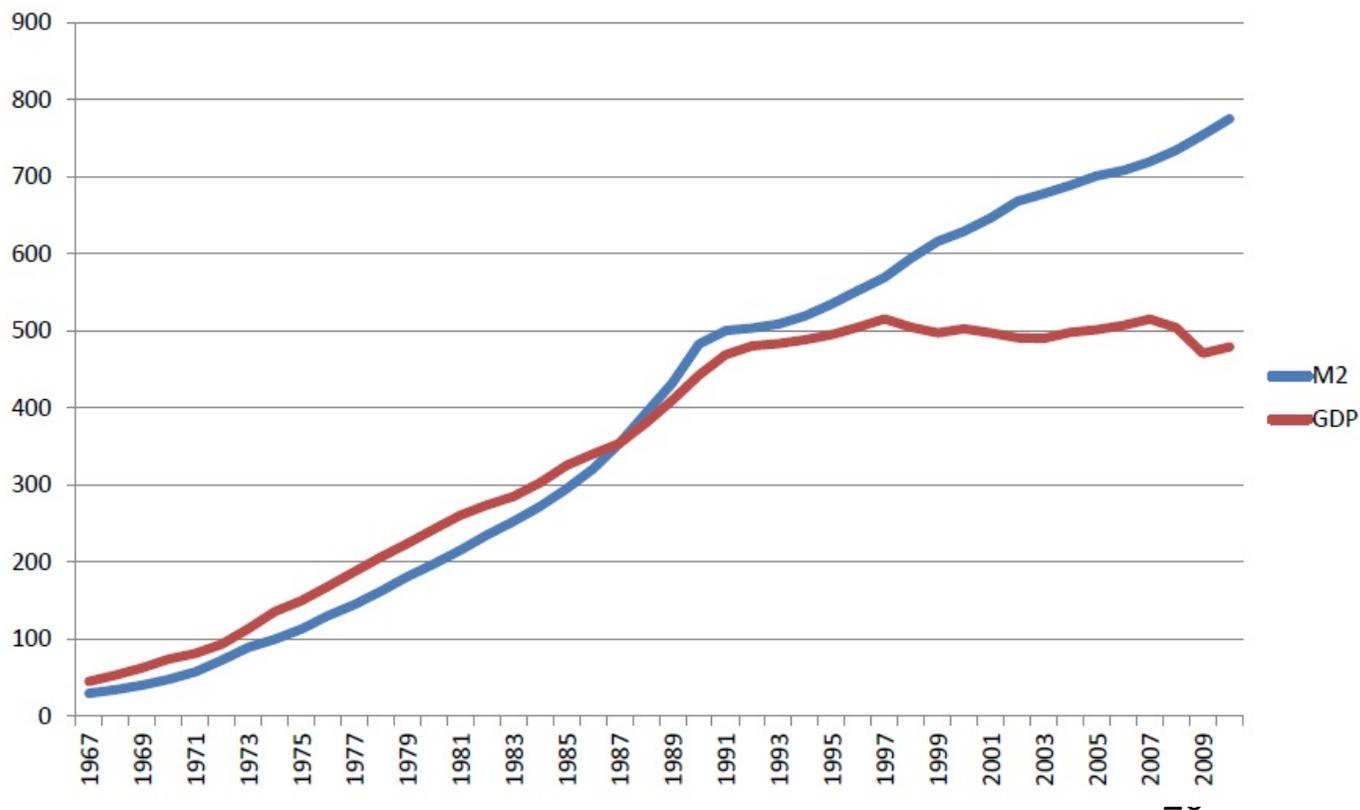
日米のマネタリーベース対GDP比の推移



最近のウソの見破り方(5)

日銀がマネー増でも成長しない??

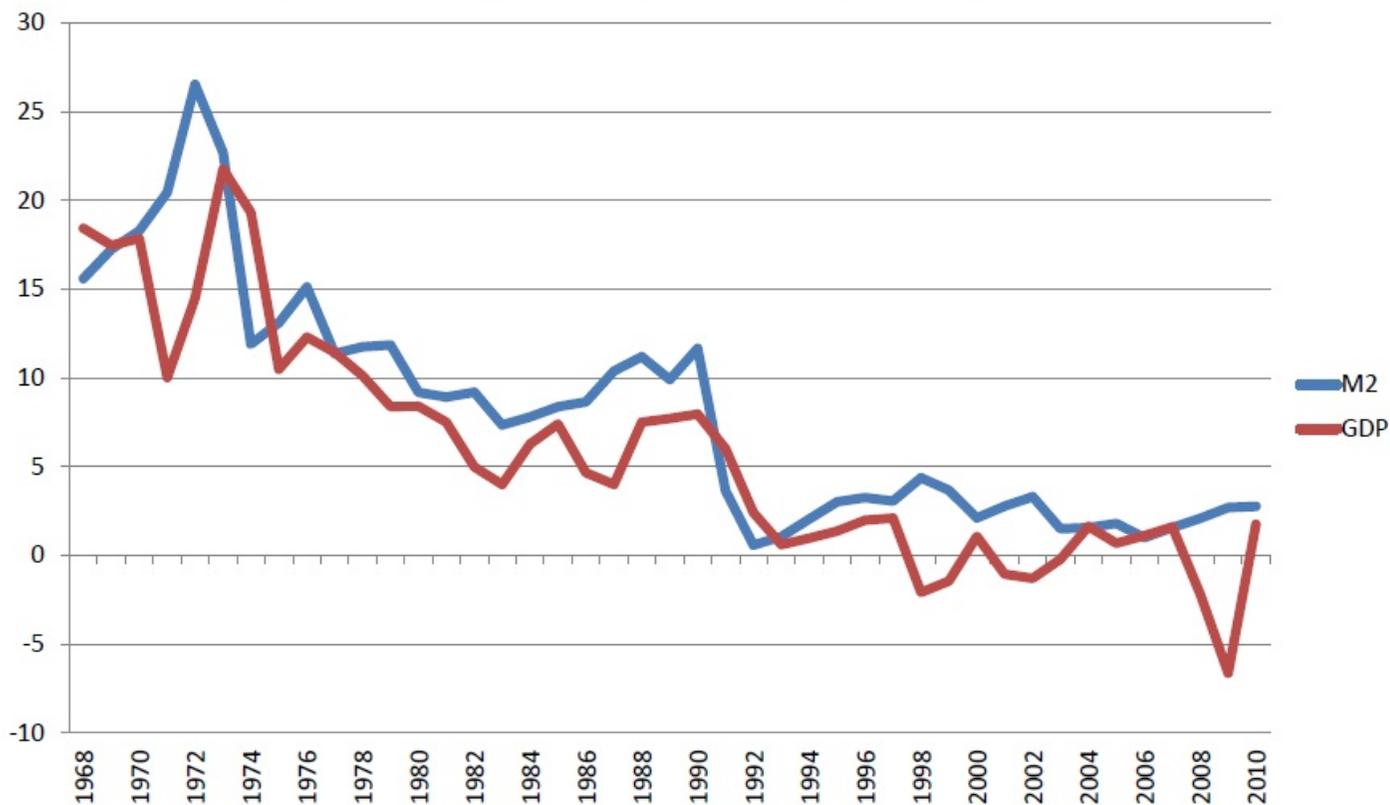
名目GDPとM2の推移(兆円)



最近のウソの見破り方(6)

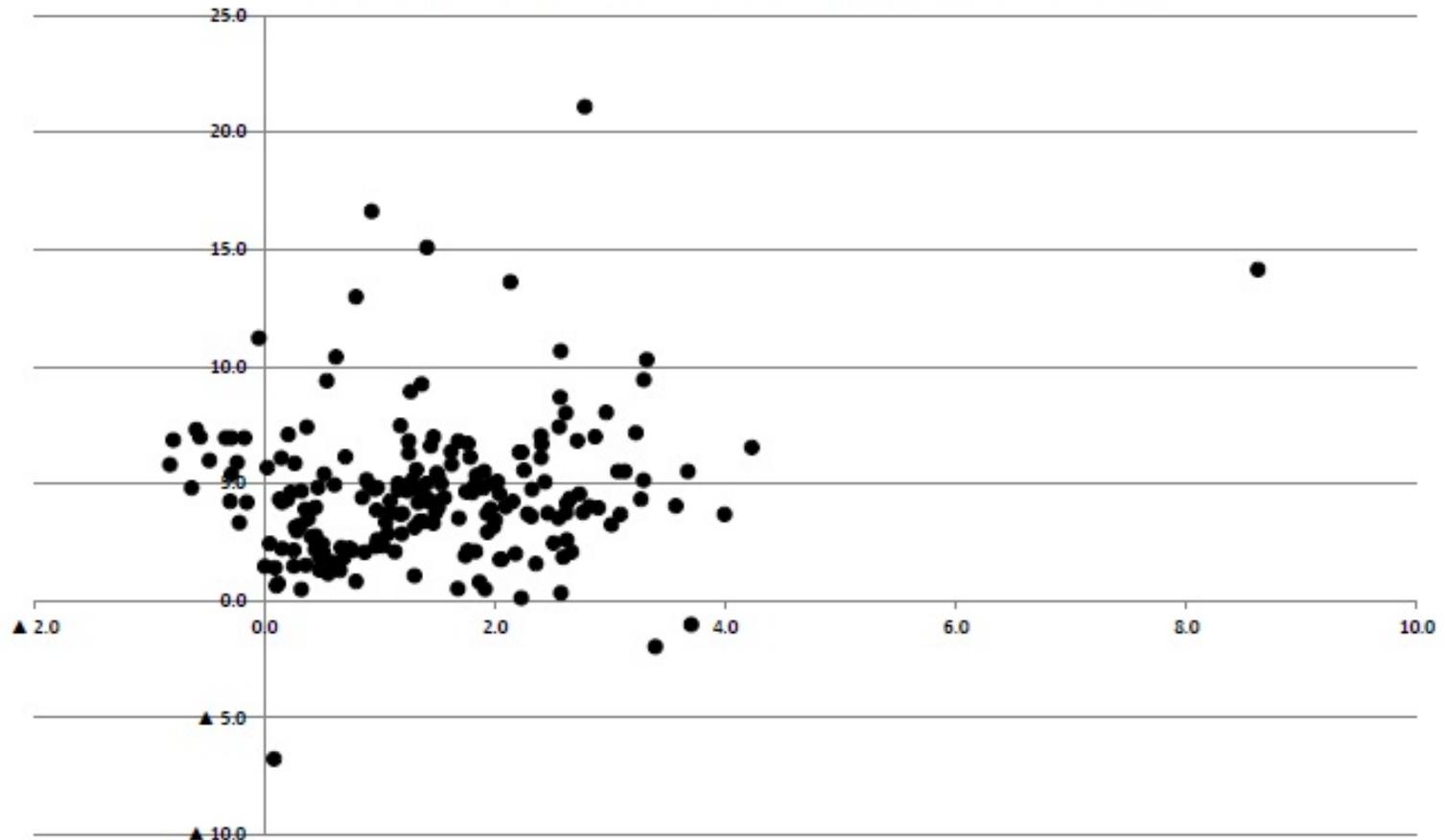
日銀がマネー増でも成長しない??

名目GDP伸び率とM2伸び率の推移



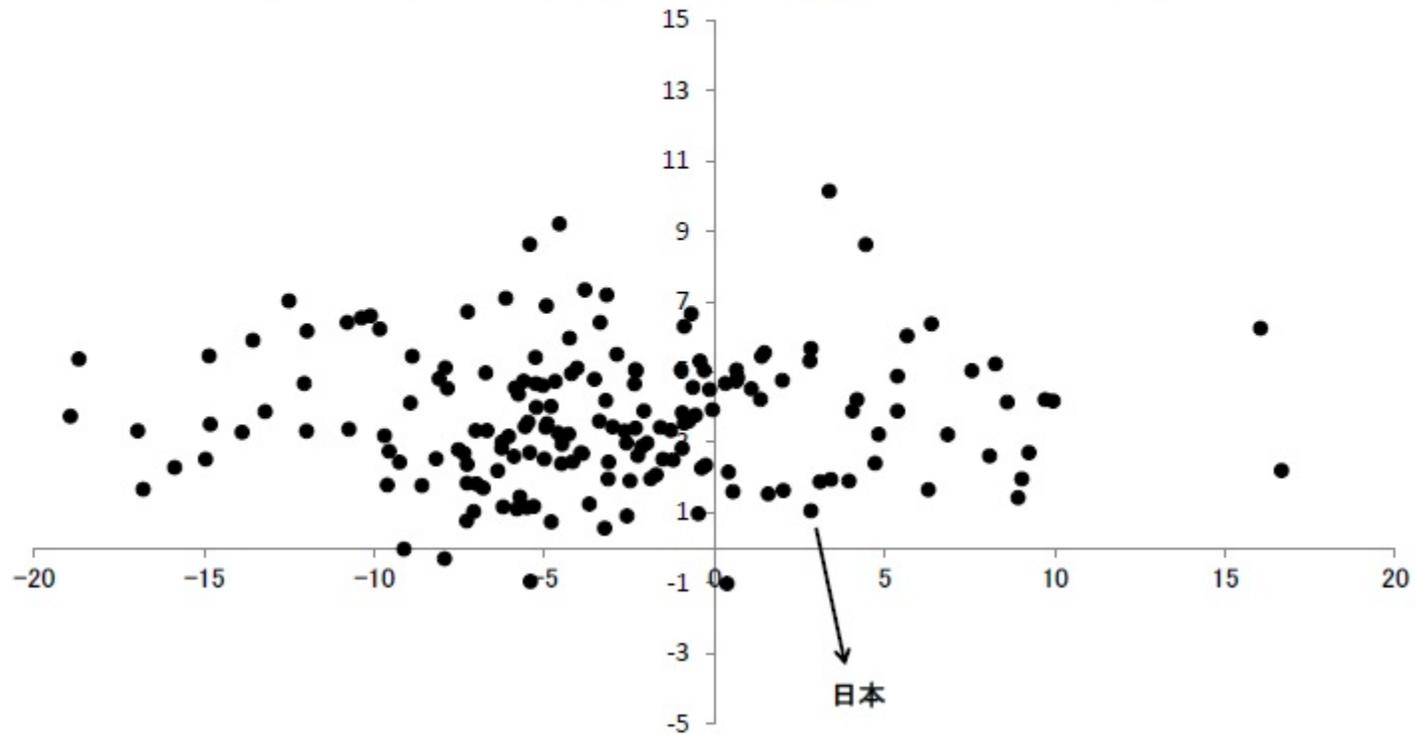
経済停滞は人口減少？

人口増加率と実質成長率(2000-2008)



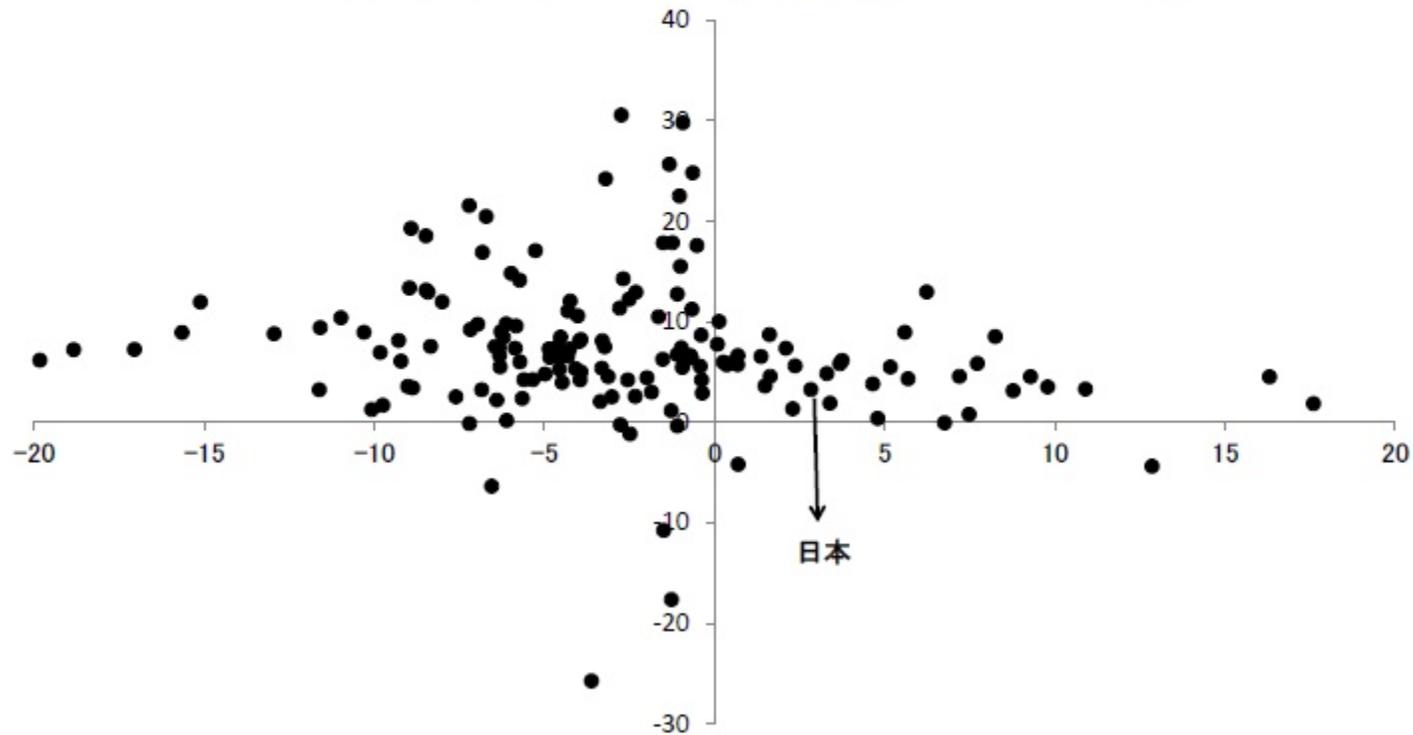
経常収支赤字は問題？(1)

経常収支対GDP比(横軸)と実質GDP
成長率(縦軸)の関係(1990-2009)



経常収支赤字は問題？(2)

経常収支対GDP比(横軸)と
実質金利(縦軸)の関係(1990-2009)



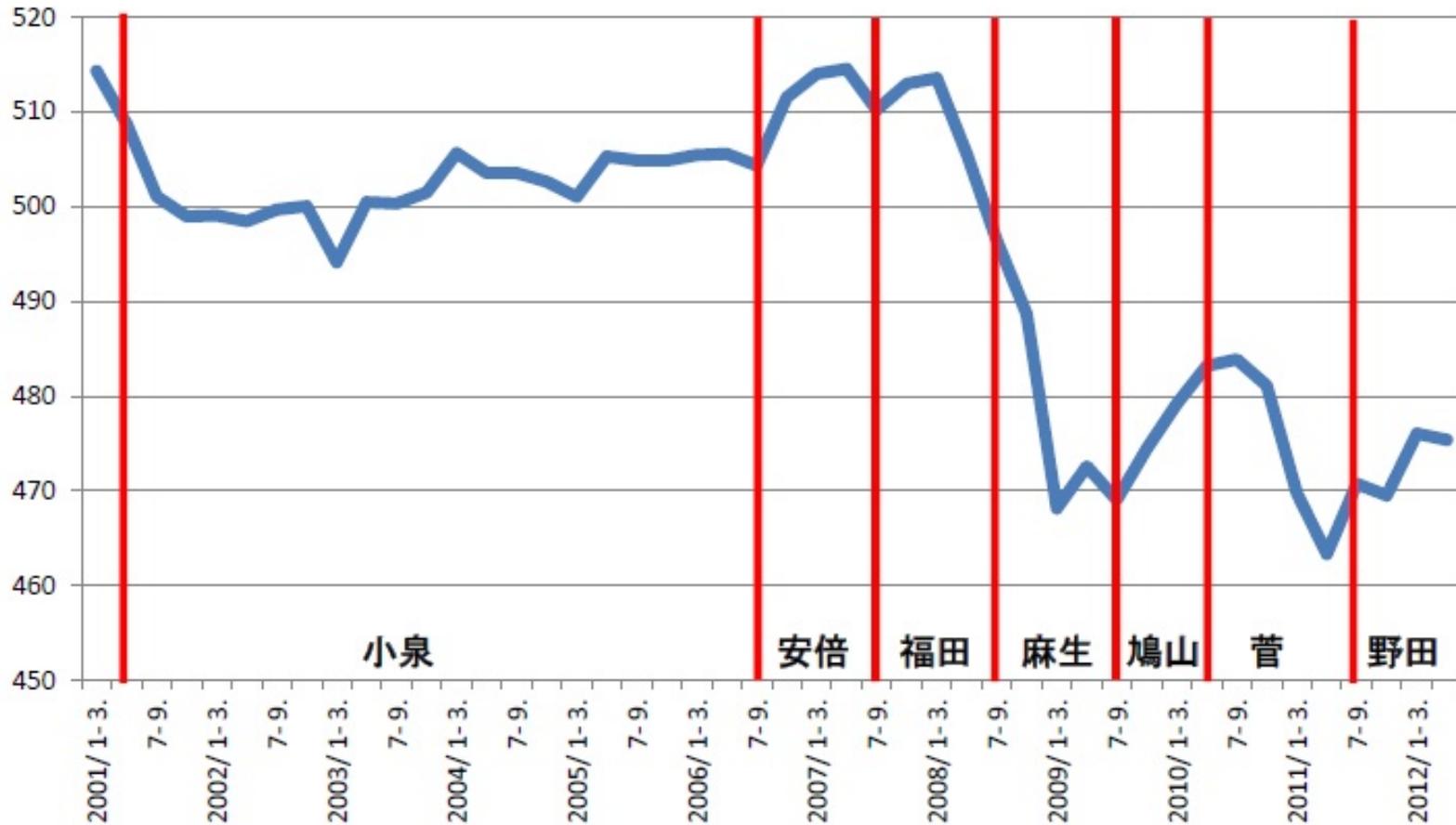
近年の経済状況(1)

日経平均(円)の推移



近年の経済状況(2)

名目GDP(季節調整済、兆円)の推移



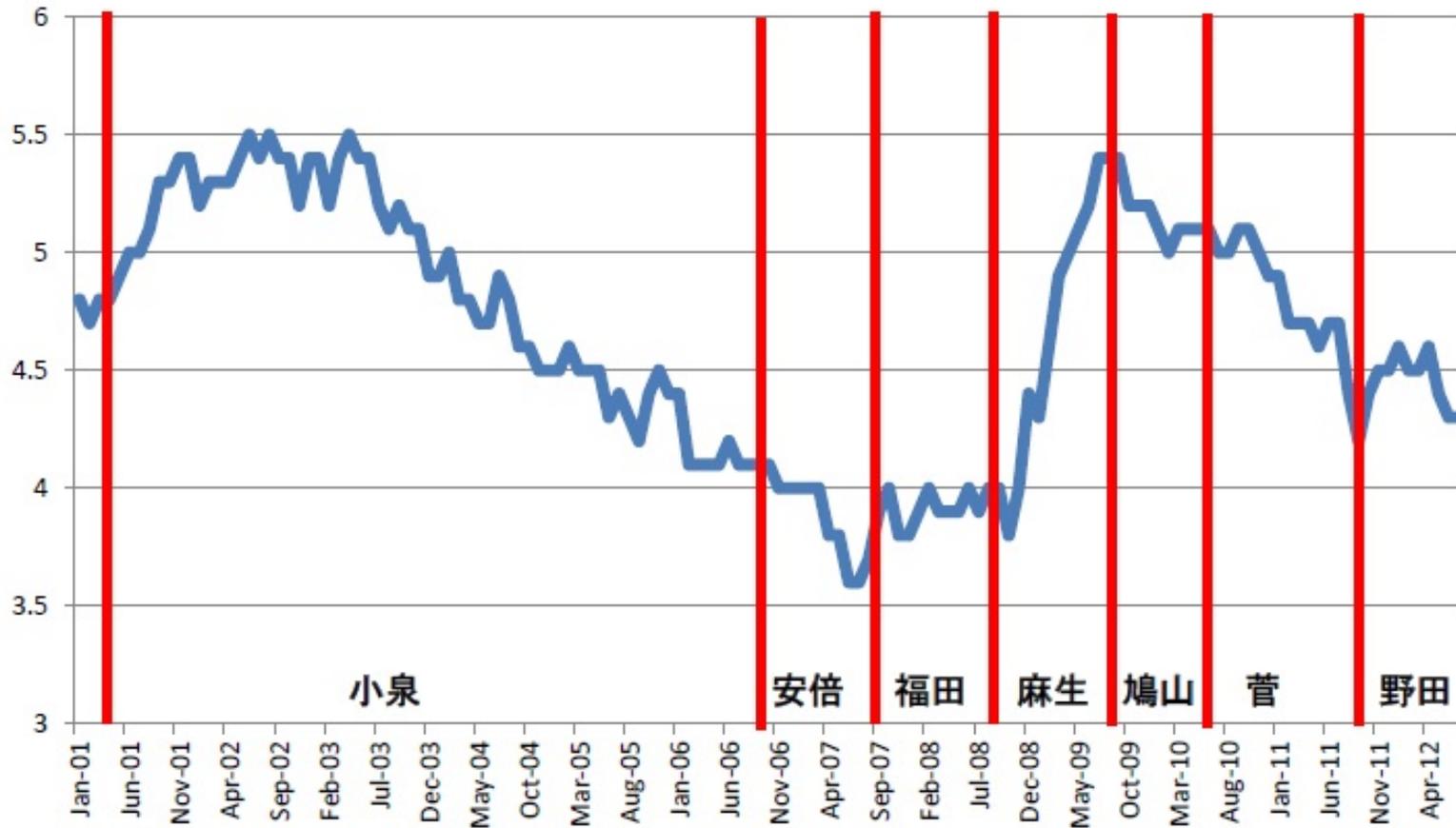
近年の経済状況(3)

円ドルレート(円/ドル)の推移



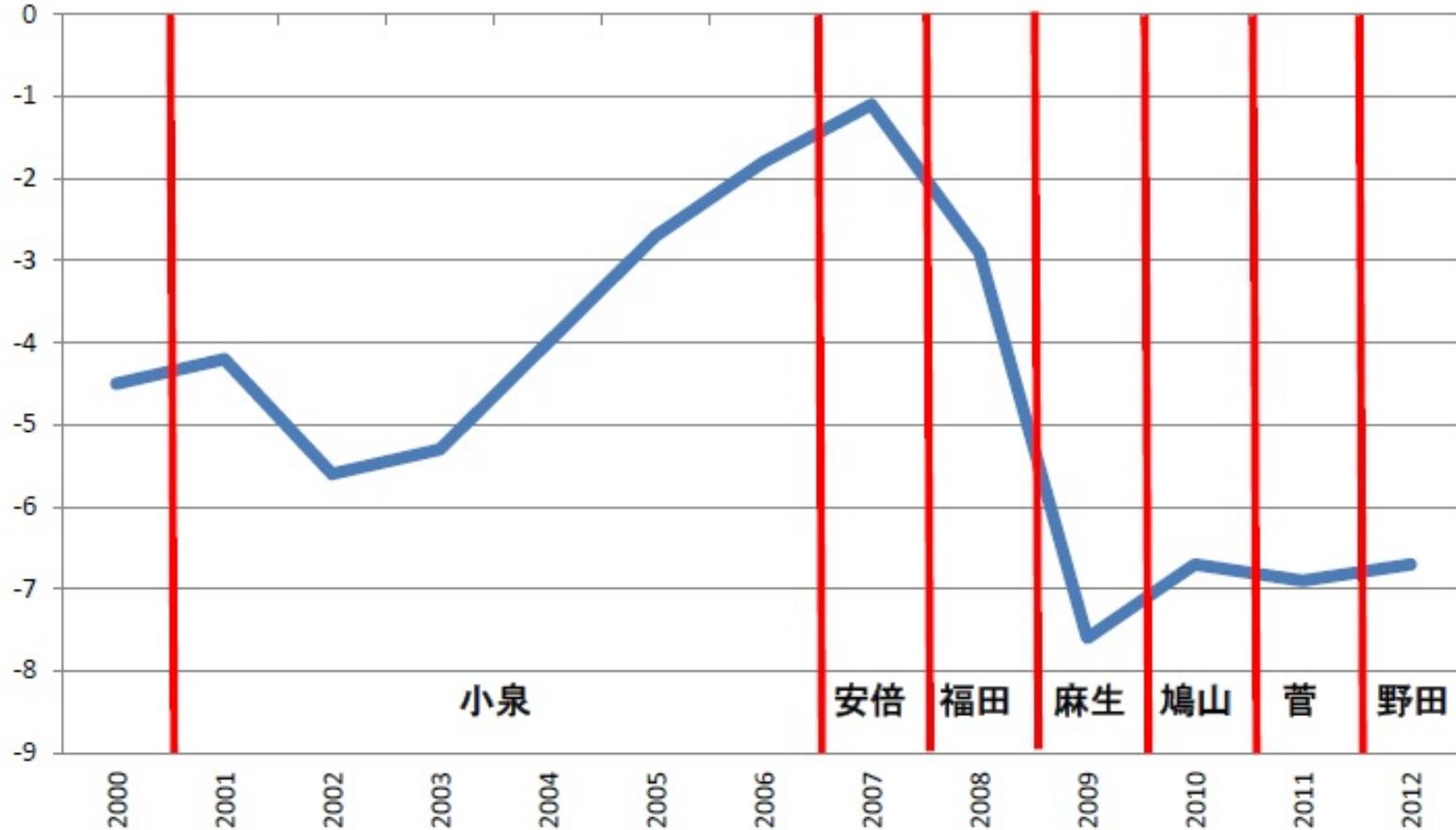
近年の経済状況(4)

失業率(季節調整済、%)の推移



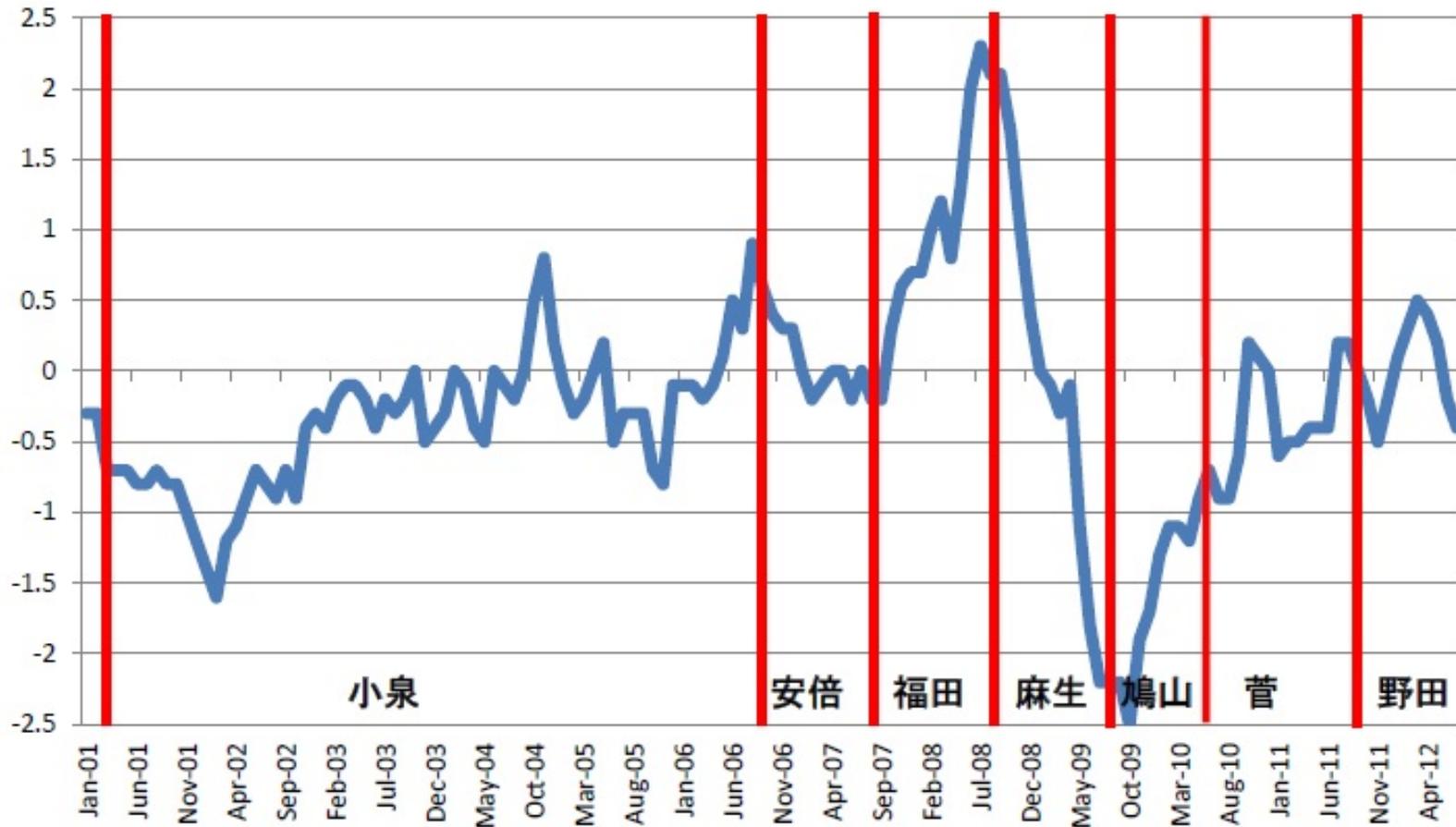
近年の経済状況(5)

国・地方の基礎的財政収支対GDP比



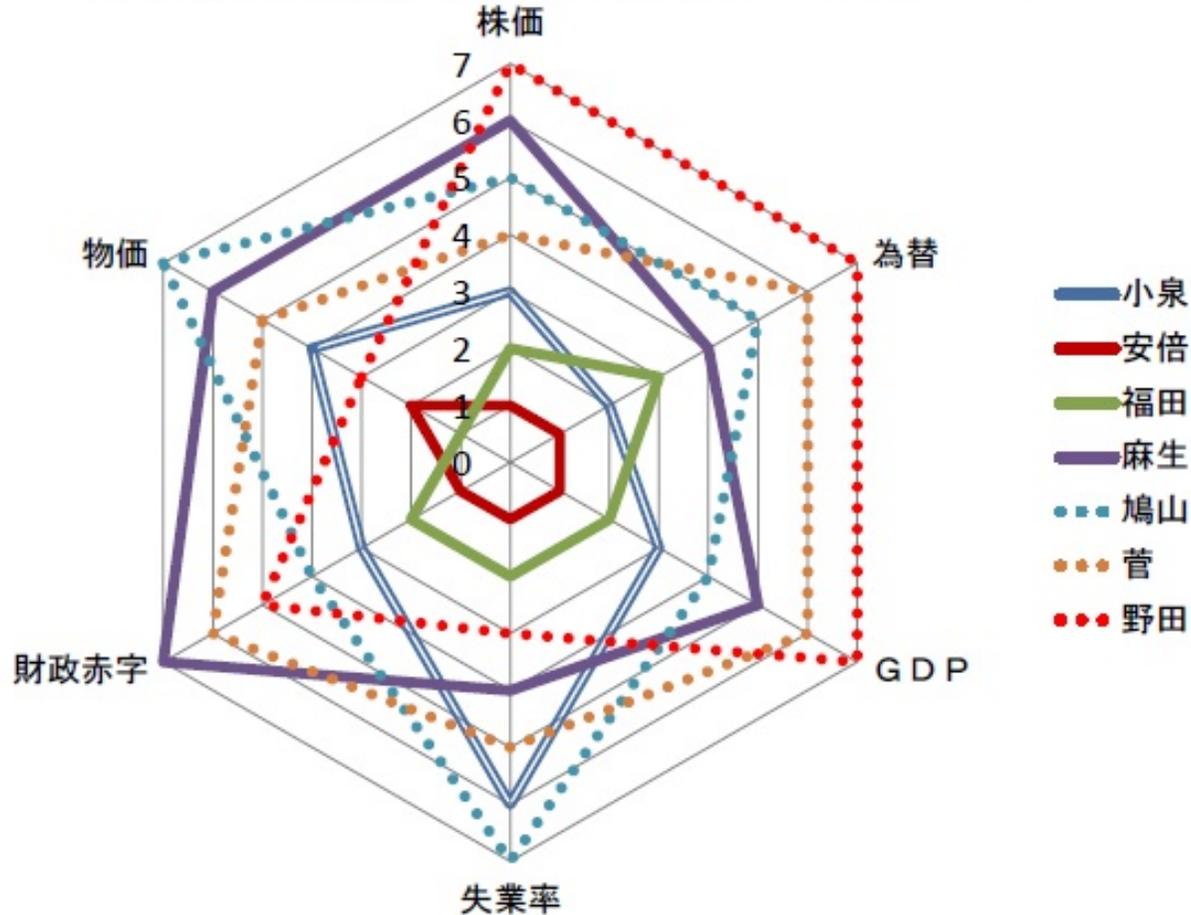
近年の経済状況(6)

インフレ率(総合前年同月比)の推移



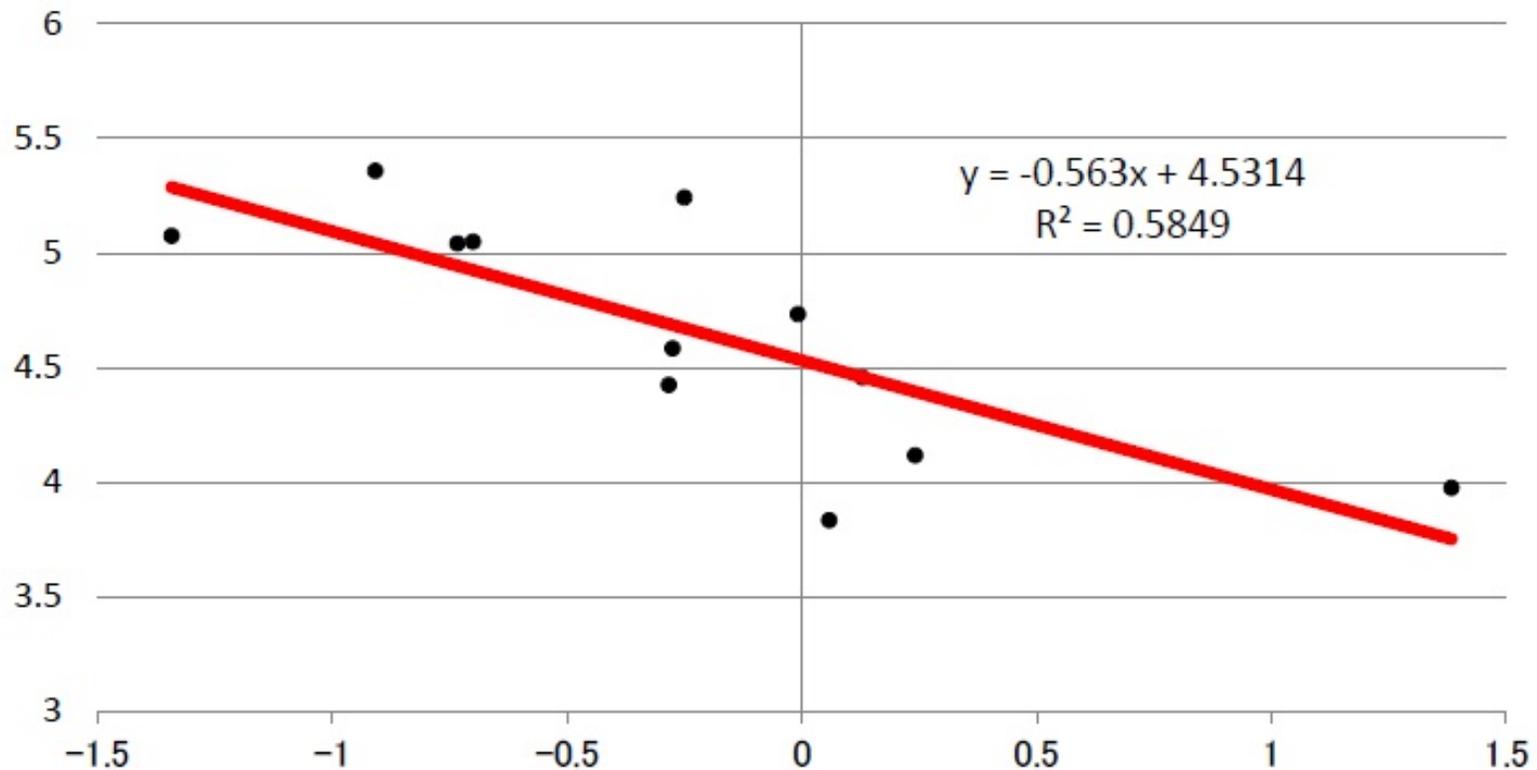
近年の経済状況(7)

各政権の経済パフォーマンス



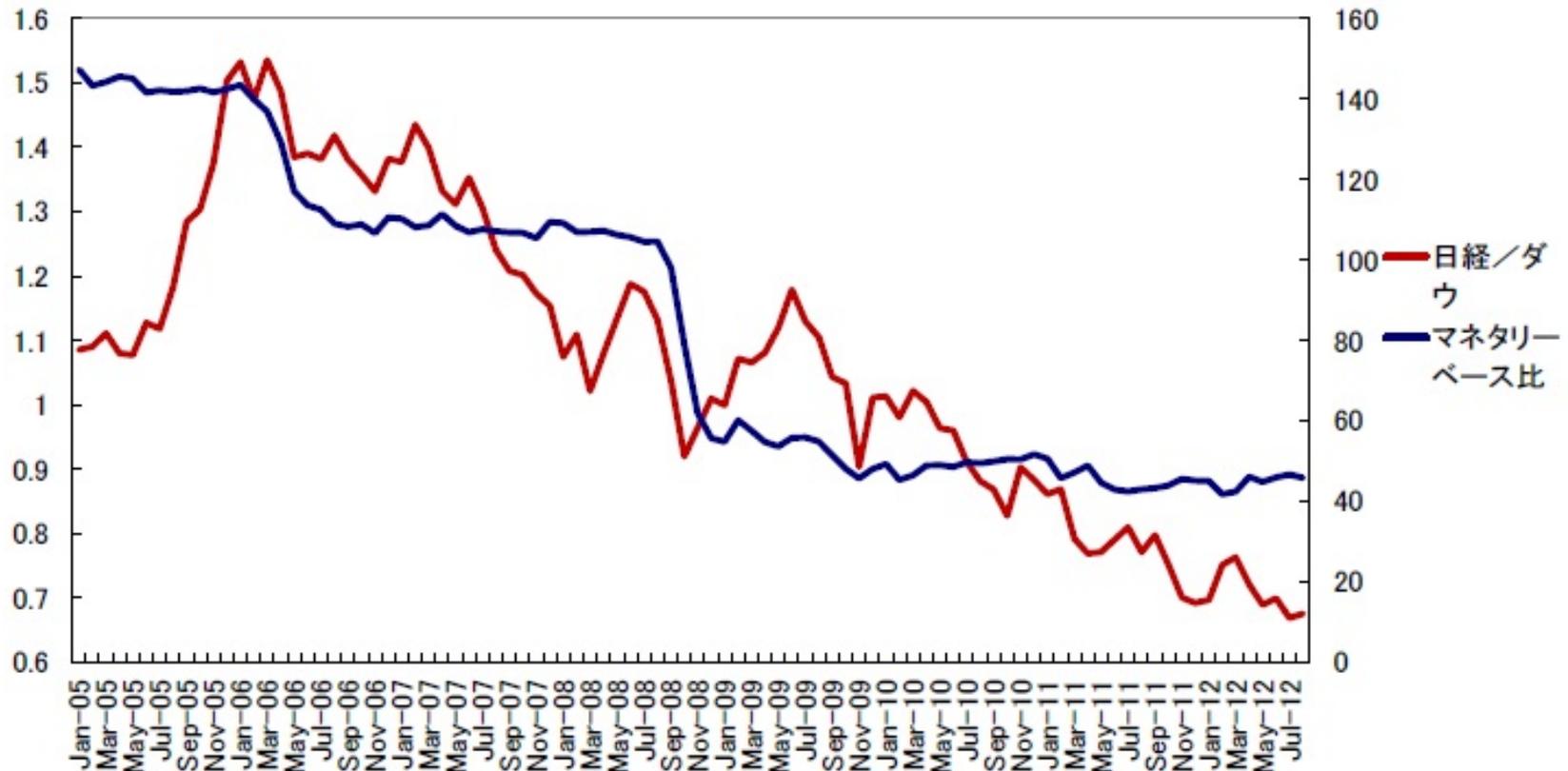
近年の経済状況(8)

インフレ率(横軸%)と失業率(縦軸%)
の関係(2000年代)



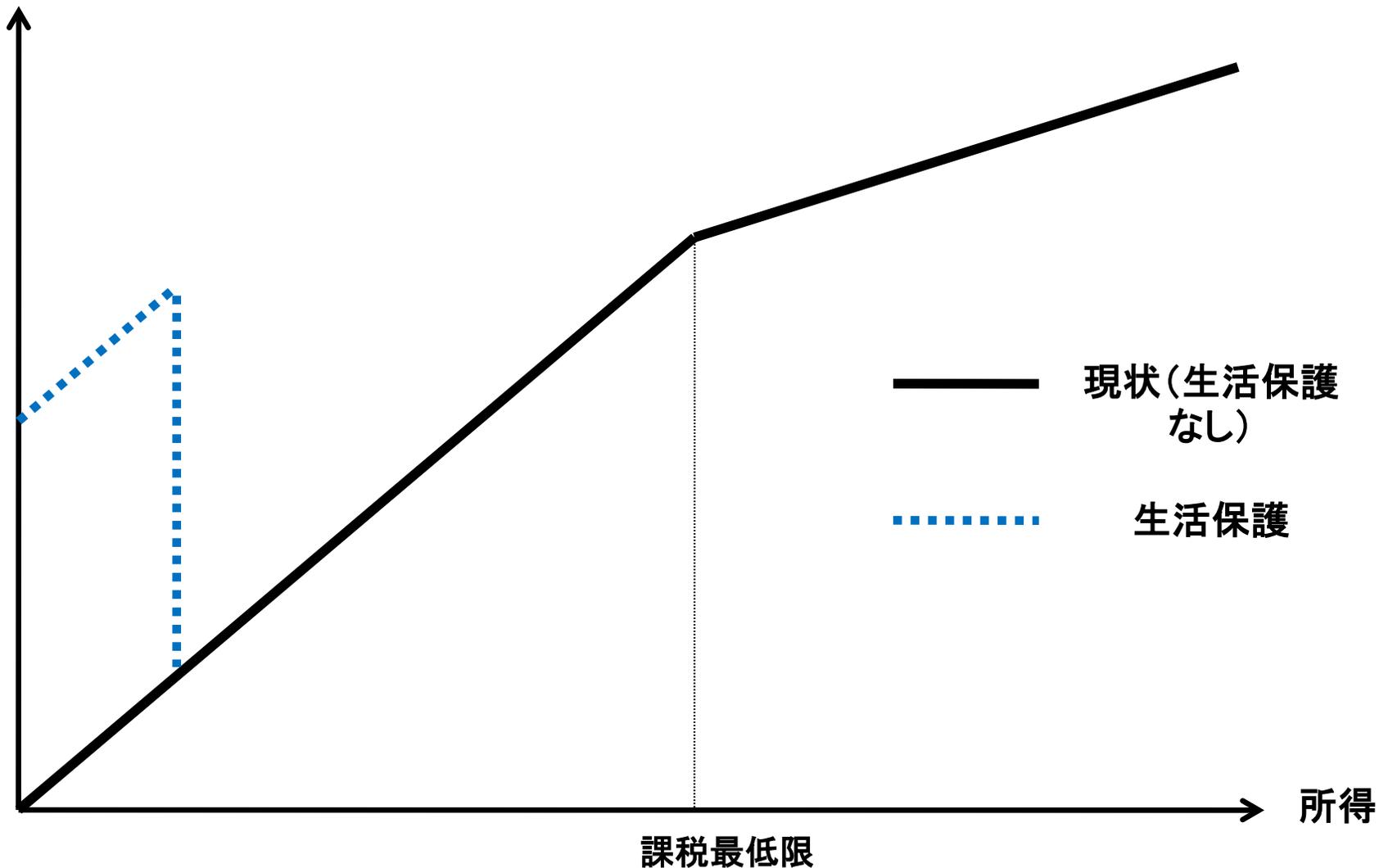
近年の経済状況(9)

日経平均/NYダウ(左)とマネタリーベース
の日/米比率の推移



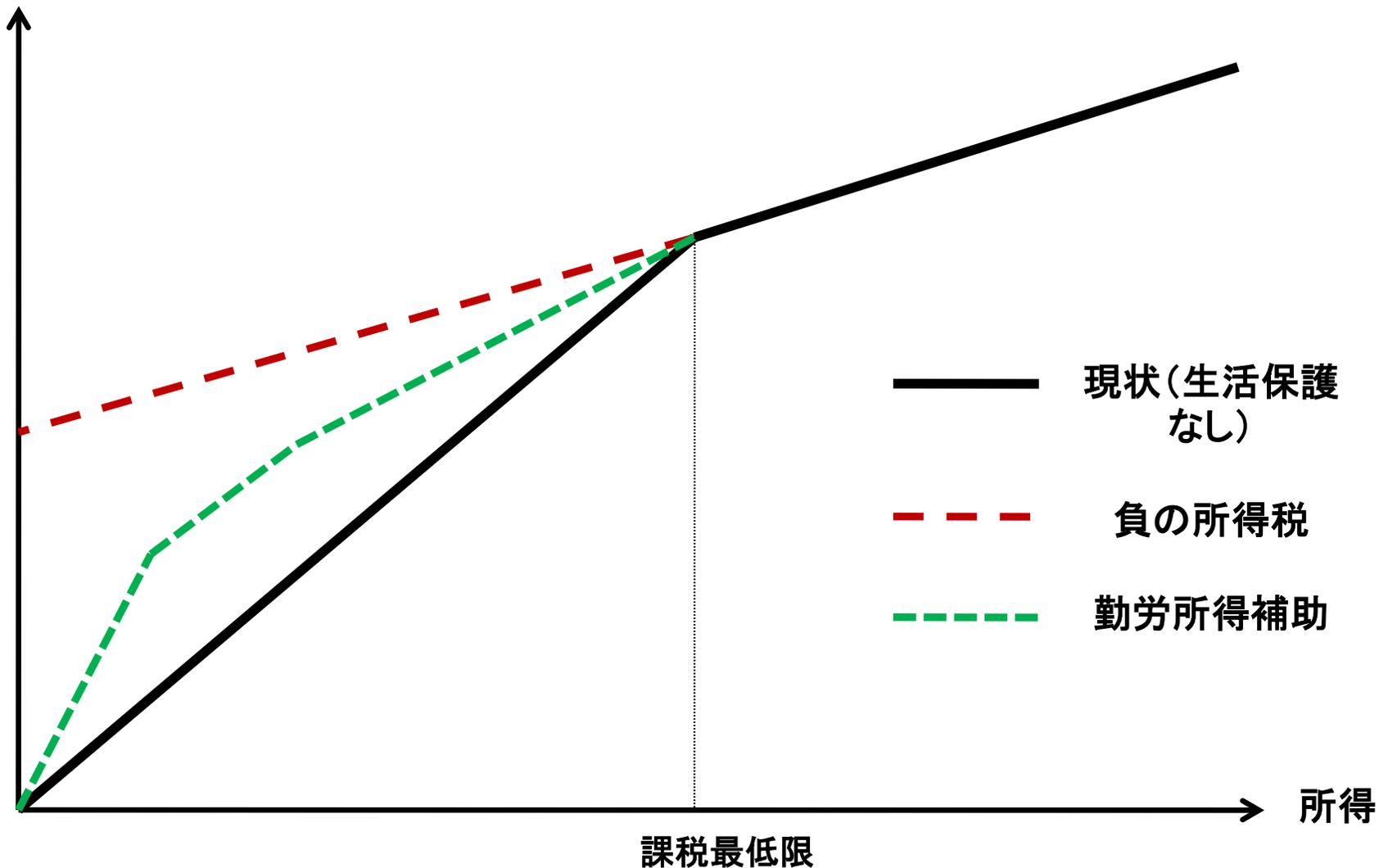
社会保障の世界的潮流(1)

可処分所得



社会保障の世界的潮流(2)

可処分所得

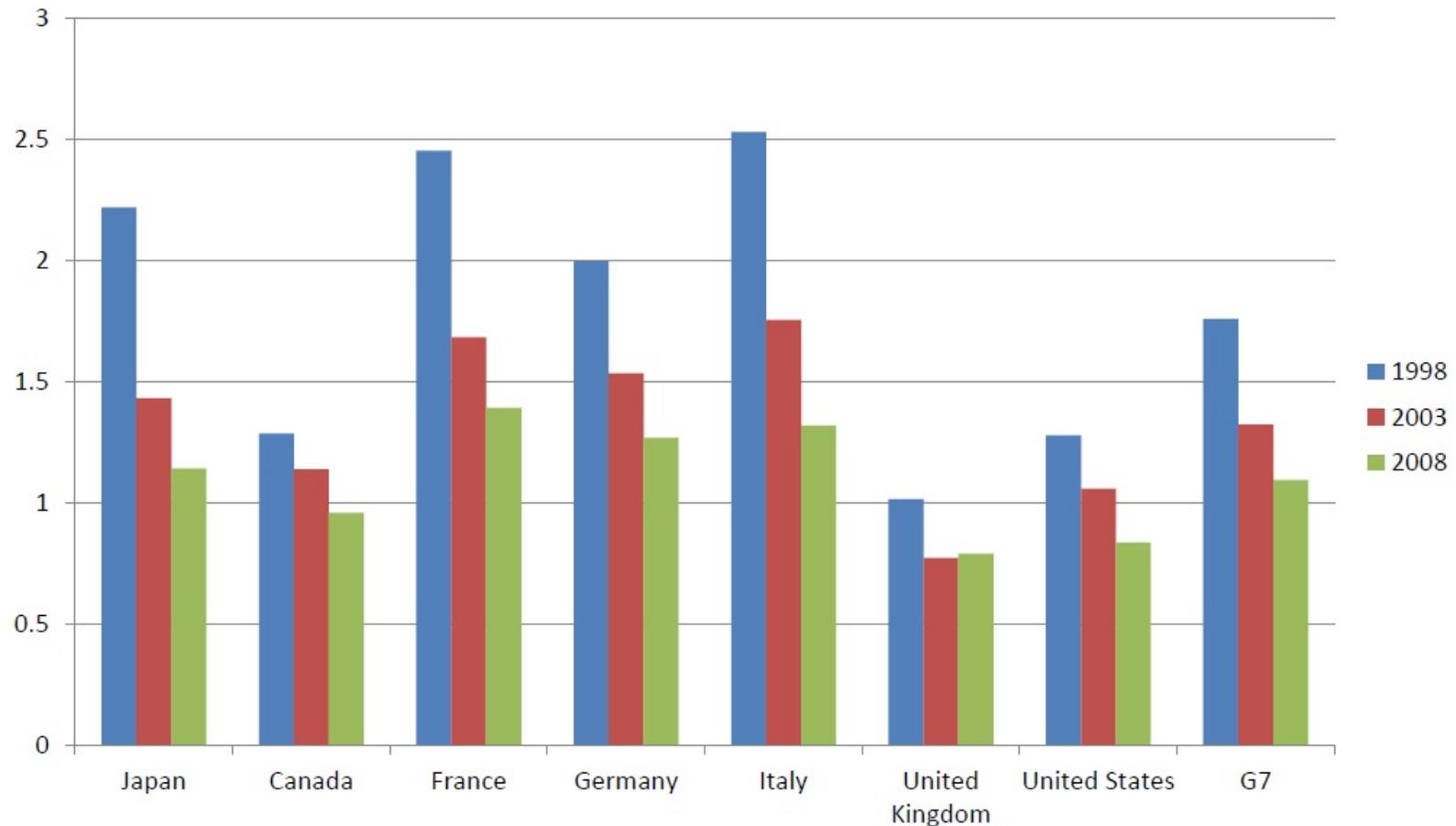


TPP交渉参加は得か

- 交渉参加は政府権限
- TPP、FTA、EPAなどなど
- TPP、ASEAN+ α
- 国際交渉参加は合コンと同じ
- 最後は国内法の手当
- そのときに政治が判断
- それは政治は関与しないほうがいい(拒否するためにも)

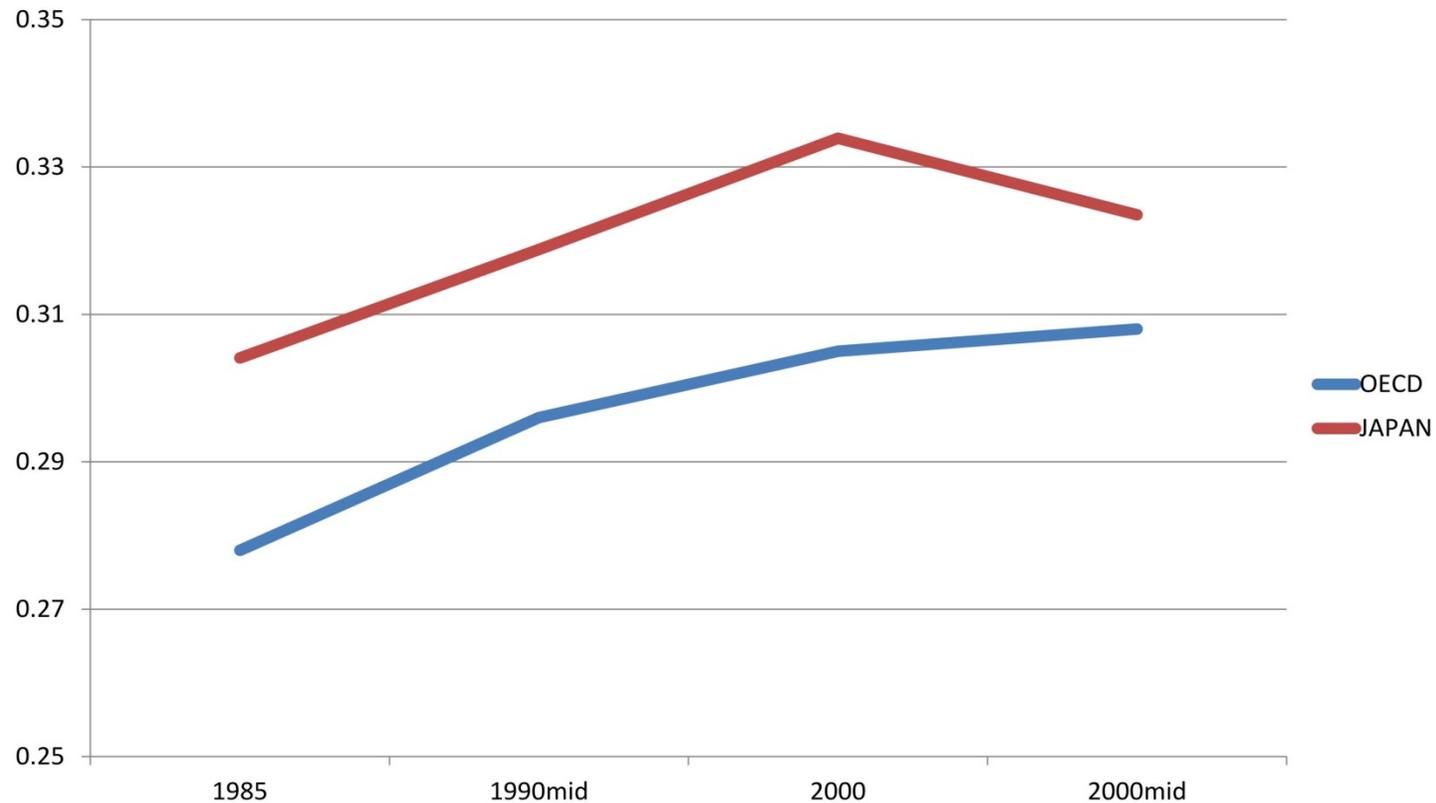
小泉政権の規制緩和はやり過ぎ？

規制緩和指数の推移 (OECD)



小泉政権で格差拡大？

日本とOECD平均のジニ係数の推移



経済政策思想の比較

小さな政府	大きな政府
競争、自立、個の責任	結果平等、温情、政府の責任
市場、地方分権(権限、人間、財源)	統制経済、中央集権
公務員制度改革、行革・民営化、政府資産売却・埋蔵金発掘	官僚主導、行革・民営化は不熱心、政府資産売却反対、埋蔵金なしという
ミニマム、効率的・統合的な社会保障	カバーが大きく、多種多様な社会保障
選別的でない金融政策がマクロ経済政策の中心、簡素な税制	選別的な財政政策がマクロ経済政策の中心、複雑な税制
規制緩和、産業横断的な競争政策	規制温存、特定分野での産業政策